



多文化共生地域会議

多文化共生を再考する：地域に暮らす外国人とは誰なのか

明治学院大学
教養教育センター
長谷部美佳



- もう一度、多文化共生を考える

もう一度、多文化共生を考える



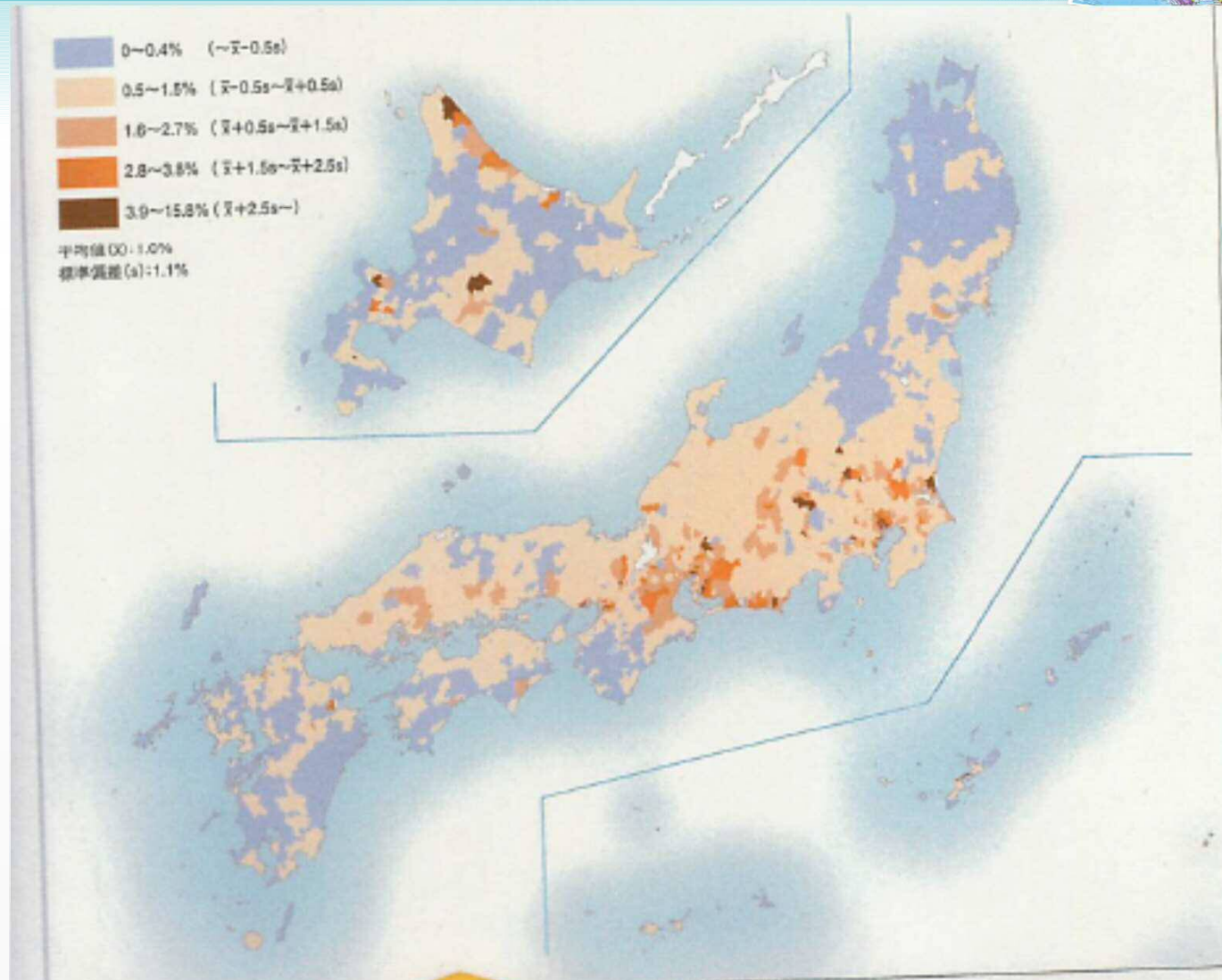
💡 「地域に暮らす全ての人々が、国籍や言葉の違いに関わらず、理解しあい、支えあう」社会

もう一度、多文化共生を考える



💡「地域に暮らす全ての人」って誰？

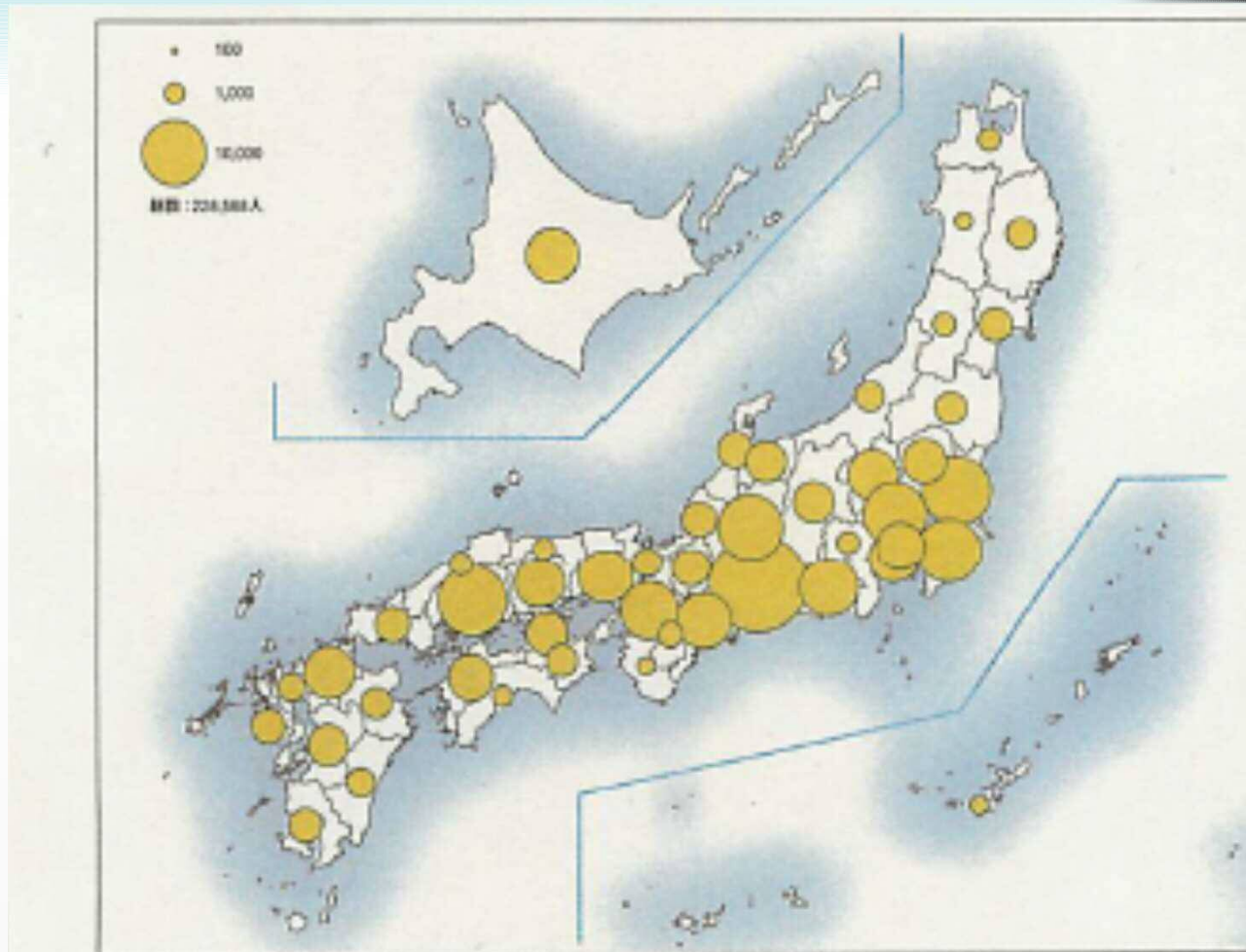
もう一度、多文化共生を考える 地域に暮らす全ての人...?



- ◆外国人が多数住んでいるのは、基本的には大都市圏中心
- ◆ただし、北海道や東北の一部にも

◆ 石川義孝編(2019)「地図で見る日本の外国人」より

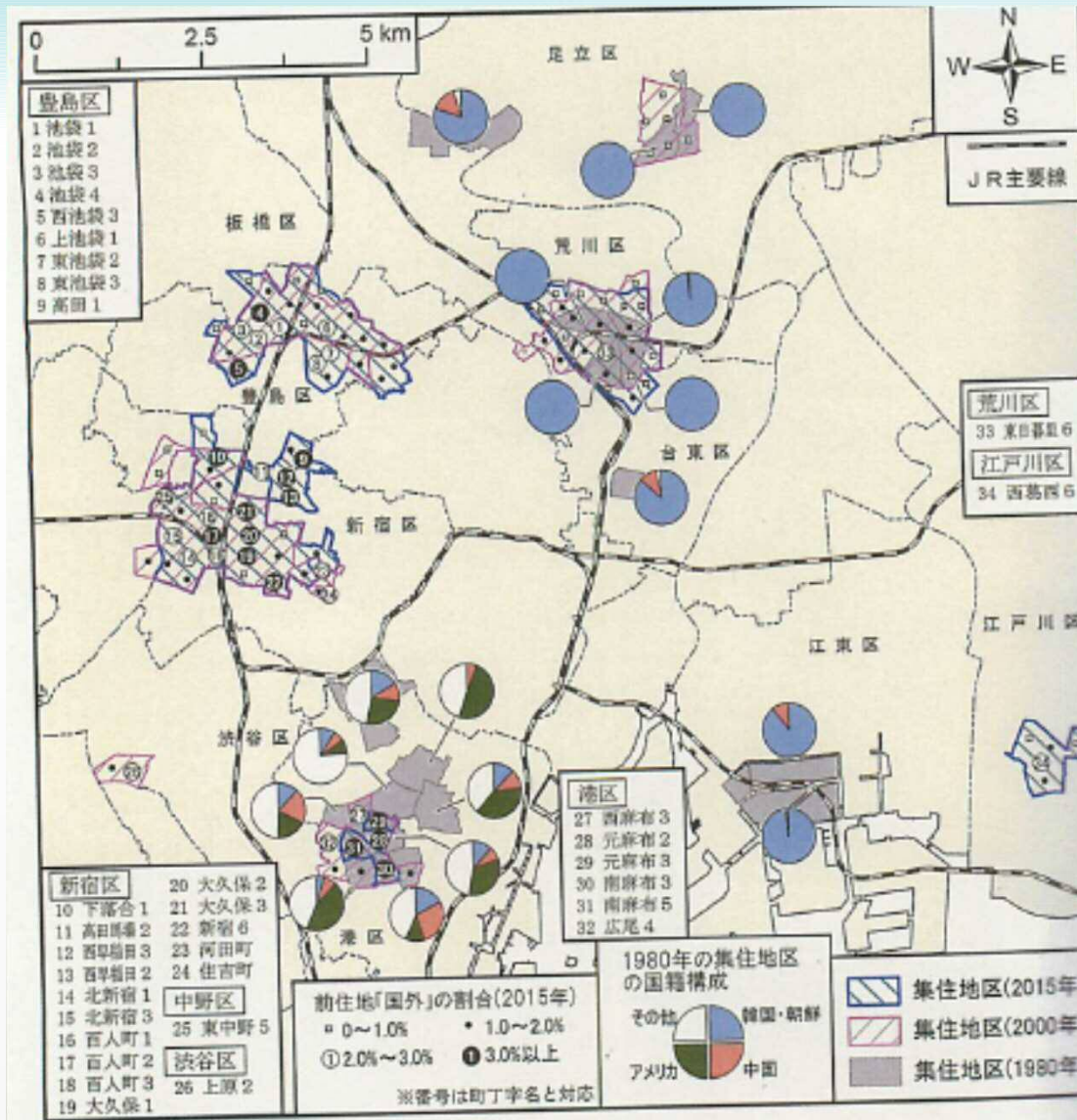
もう一度、多文化共生を考える 地域に暮らす全ての人...？



◆ 石川義孝編(2019)「地図で見る日本の外国人」より

- ◆ 今後増加が予想される「特定技能」
- ◆ 技能実習制度をもとにすると言われているが、技能実習生は全国にまんべんなく存在。
- ◆ →全国どこの地域にも、そこに「暮らす」外国人が増える可能性

もう一度、多文化共生を考える 地域に暮らす全ての人...？



◆ 東京都では、「集住地区」が2000年以降、増加している。

◆ 大久保なども、1980年以降の増加。

◆ 大久保は2人に1人が外国人。

◆ 石川義孝編(2019)「地図で見る日本の外国人」より

もう一度、多文化共生を考える



💡「理解し合う」？ - 認識の違いは克服できるか？

もう一度、多文化共生を考える 理解しあう？



- 💡 日本人側：外国人は支援される人、というイメージ。
- 💡 特に「新しい在留資格」が創設されるので、外国人労働者が「新たに来る」というイメージがある。
- 💡 また、支援機関の設置などという言葉とともに報道される。
- 💡 「また、政府が外国人支援の新たな目玉に位置づけている「登録支援機関」についての質問も複数あった。(中略)ある参加者は、技能実習生を受け入れ、企業に派遣する監理団体と、登録支援機関が同じような性格かを聞いた。法務省側は「全く違う。監理団体と受け入れ企業は上下関係だが、登録支援機関は中立的な立場だ」と回答。登録支援機関は、受け入れ企業の代わりに、外国人への支援をする存在だと説明した。」(朝日新聞、2019年2月7日付)

もう一度、多文化共生を考える 理解しあう？



- 💡 **支援されるだけの人ではない...!**
- 💡 日本に在住する外国人の半数近くは「特別永住者／永住者」→ 長く日本社会に生活根付いている。
- 💡 実際、エスニック・ビジネスなど起業している人もいる（中華街、新大久保などはいいい例）
- 💡 留学生が30万人いて、その中から日本人と同じように就職する人も多数。
- 💡 また高齢者の多い地域では、若者は外国人しかいないというところも。地域社会の運営には外国人は不可欠。
- 💡 高齢化率60%＋外国人世帯比率25%越えというような公営住宅では、外国人を外していたら運営が回らないところも。→ **日本社会を支える側にいる人も!**

もう一度、多文化共生を考える 理解しあう？



	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
投資・経営	7,342	7,916	8,895	9,840	10,908	11,778	12,609	13,439	15,184	297	731
技 術	35,135	44,684	52,273	50,493	46,592	42,634	42,273	43,038	45,892	142	148
人文知識・ 国際業務	57,323	61,763	67,291	69,395	68,467	67,854	69,721	72,319	76,902	137,706	161,124
企業内転勤	14,014	16,111	17,798	16,786	16,140	14,636	14,867	15,218	15,378	15,465	15,772
興 行	21,062	15,728	13,031	10,966	9,247	6,265	1,646	1,662	1,967	1,869	2,187
技 能	17,869	21,261	25,863	29,030	30,142	31,751	33,863	33,425	39,756	39,756	39,756
技能実習					100,008	141,994	151,477	155,206	167,626	192,655	228,588
留 学	131,789	132,460	138,514	145,909	201,511	188,605	180,919	193,073	214,525	246,679	277,331
就 学	36,721	38,130	41,313	46,759	9,343	3,388	1,804	1,501	1,427	1,521	1,379
研 修	70,519	88,086	86,826	65,209	118,865	119,359	120,693	122,155	125,992	133,589	149,303
家族滞在	91,344	98,167	107,641	115,081	72,374	22,751	20,159	22,673	28,001	37,175	47,039
永住者	394,477	439,757	492,056	533,472	565,089	598,440	624,501	655,315	677,019	700,600	727,111
日本人の 配偶者等	260,955	256,980	245,497	221,923	196,248	181,617	162,332	151,156	145,312	140,349	139,327
永住者の 配偶者等	12,897	15,365	17,839	19,570	20,251	21,647	22,946	24,649	27,066	28,939	30,972
定住者	268,836	268,604	258,498	221,771	194,602	177,983	165,001	160,391	159,596	161,532	168,858
特別永住者	443,044	430,229	420,305	409,565	399,106	389,085	381,364	373,221	358,409	348,626	338,950

もう一度、多文化共生を考える 理解しあう？



- 💡 ちなみに...。
- 💡 新宿区が多文化共生まちづくり会議に参加する委員の半数は外国人。全員日本語でのディスカッションをする。
- 💡 特にビジネスや「儲け」を求めて集まるわけでもない会議に参加する人が、何人も存在している。
- 💡 自分たちの同胞だけでなく、日本社会への貢献を目指す人たちも！
- 💡 という認識を日本社会の側が
- 💡 もっと持つべき。





💡 「支え合う」?

💡 「外国人」は地域社会の人材という視点の必要性

もう一度、多文化共生を考える 支えあう？



- 多様なバックグラウンドの人は、すでに日本で多数活躍している...
- でも同時に、人材を「育てる」必要性も

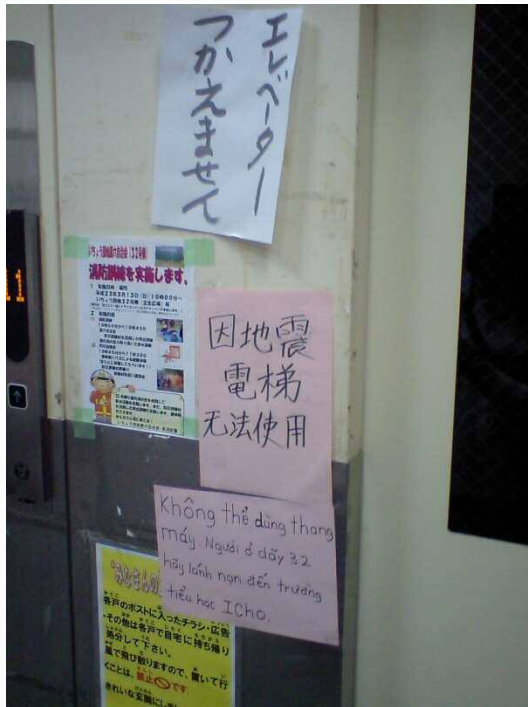


もう一度、多文化共生を考える 支えあう？



- 支えてくれる人を育てるには、彼らが社会で認められているという認識を持てることが重要。
- 地域社会の中で、外国籍住民が、日本社会を支えている感を得られる場づくり
- 定着を決める要因としてのホスト社会とのつながり
- いざというときに支えてくれる人の存在
- 緊急時に一時帰国などを抑える
- これは地域社会が提供していくもの

3.11の時の様子



団地まつり



団地まつり



地域日本語教室



カンボジア舞踊教室

